

## 目 次

### 多導体用電線付属品 ..... 多導体用電線付属品専門委員会

委員会組織 ..... (1)

第1章 総 説 ..... (3)

1-1 経 緯 ..... (3)

1-2 研究の経過 ..... (3)

1-3 各章の概要 ..... (3)

第2章 スペーサ ..... (4)

2-1 概 要 ..... (4)

2-2 変遷と現状 ..... (4)

2-2-1 変 遷 ..... (5)

2-2-2 スペーサの種類 ..... (8)

2-3 スペーサの基本仕様 ..... (11)

2-3-1 構造及び材料 ..... (11)

2-3-2 性 能 ..... (11)

2-3-3 試験項目及び方法 ..... (14)

2-4 スペーサの適用設計 ..... (27)

2-4-1 サブスパン振動 ..... (27)

2-4-2 常時電流による電磁吸引現象 ..... (28)

2-4-3 捻回復元理論 ..... (29)

2-4-4 スペーサ取付間隔決定手法 ..... (30)

2-4-5 スペーサ取付間隔の設計例 ..... (31)

2-4-6 海外におけるスペーサ取付間隔 ..... (32)

第3章 ジャンパ装置 ..... (34)

3-1 概 要 ..... (34)

3-2 変遷と現状 ..... (34)

3-3 ジャンパ装置の基本仕様 ..... (38)

3-3-1 構造及び材料 ..... (38)

3-3-2 性 能 ..... (40)

3-3-3 試験項目及び方法 ..... (40)

3-4 ジャンパ装置の適用設計 ..... (47)

3-4-1 ジャンパ装置の選定 ..... (47)

3-4-2 横振れ特性とクリアランス設計 ..... (48)

3-4-3 ジャンパ装置の適用設計例 ..... (54)

3-4-4 プレハブ設計例 ..... (56)

第4章 ダンパ ..... (59)

4-1 概 要 ..... (59)

4-2 変遷と現状	(59)
4-3 ダンバの基本仕様	(60)
4-3-1 構造及び材料	(60)
4-3-2 性能	(62)
4-3-3 試験項目及び方法	(62)
4-4 ダンバの適用設計	(64)
4-4-1 防振設計手法	(64)
4-4-2 TACSR 810 mm <sup>2</sup> 2導体の防振設計例	(68)
4-4-3 TACSR 810 mm <sup>2</sup> 4導体の防振設計例	(69)
 第5章 その他電線付属品	(70)
5-1 概要	(70)
5-2 ギャロッピングダンバ	(70)
5-2-1 ギャロッピング現象	(70)
5-2-2 ギャロッピングダンバ	(70)
5-3 6導体用電線付属品	(71)
5-3-1 6導体送電線の建設	(71)
5-3-2 6導体用スペーサ	(71)
5-3-3 6導体用ジャンパ装置	(72)
5-4 3導体用電線付属品	(72)
5-4-1 3導体送電線の建設	(72)
5-4-2 3導体用スペーサ	(73)
5-4-3 3導体用ジャンパ装置	(73)
5-5 8, 10導体用電線付属品	(74)
5-5-1 8, 10導体送電線の研究	(74)
5-5-2 素導体配列	(74)
5-5-3 8, 10導体用スペーサ	(74)
5-5-4 8, 10導体用ジャンパ装置	(75)
5-6 諸外国の電線付属品	(76)
5-6-1 スペーサダンバ	(76)
5-6-2 2導体用スペーサ及び群スペーサ	(78)
 第6章 今後の課題と展望	(79)
 付録1. 多導体用電線付属品調査結果	(80)
付録2. 等価弾性力 $\bar{E}A$ , 等価線路常数 $\bar{M}$ の計算	(84)